RECARO

取扱説明書

このたびは、レカロ・チャイルドシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には、かならず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。また、取り付け後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。なお、チャイルドシートを他のお客様にお譲りになるときは、かならず本書も合わせてお渡しください。

年少者用補助乗車装置　Y—W1・W2

商品名　レカロ スタート ゼロプラス

型式：LYC-551

必ずお読みください

各部の名称 及び 操作方法

車両に取り付ける前に

後部座席への取り付け

前部座席への取り付け

お手入れの仕方

インナーパッドの使い方

幼児専用肩パッドの使い方

●取扱説明書は本体ベース背面の収納フックに納め、保管してください。

2000/01
UNIVERSAL
~18kg
自
C - 2509
型式：LYC-551
リーマン株式会社

11551-20321-B

●当製品は、交通事故などの際に、お子さまが受ける衝撃を軽減するための年少者用補助乗車装置ですが、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。運転には、かならず細心の注意をはらい、事故が発生しないように心がけてください。

使用条件に適用しないお子さまや、取り付け不可能な座席での使用は絶対におやめください。衝突や急ブレーキの際、お子さまが車両から飛び出したり頭をフロントガラスにぶつけて、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

表示マークについて

●この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています いずれも安全に関する内容ですので、かならず守ってください。

⚠警告	記載されている内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠注意	記載されている内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
完了チェック	安全のため、かならず確認していただきたいことを記載しています。
アドバイス	より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

ご使用いただけるお子さまの適用条件

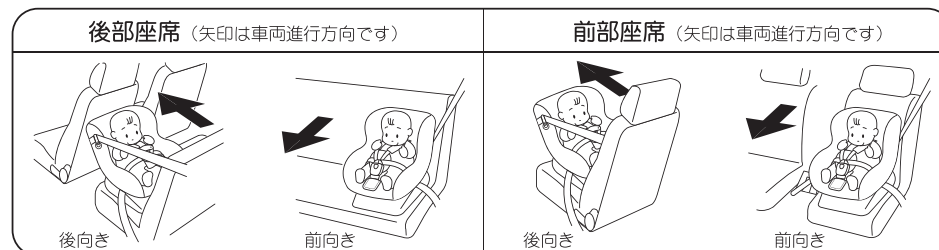
●下記の条件を満たさないお子さまには、使用しないでください。

⚠警告 体重10kg未満のお子さまは、かならず後向きでご使用ください。
⚠警告 前部座席での後向き使用の際、運転のさまたげになる場合は、ご使用をおやめください。

	お子さまの適用条件	取付け向き	インナーパッド	その他の条件
乳児用	●体重 7kg未満 身長のめやす 65cmまで 年齢のめやす 新生児～6カ月頃まで	後向き 進行方向 【角度調節4段目で使用】	必ず使用	●角度インジケーターを使い、適切な角度に調節すること。
	●体重 7kg～10kg未満 身長のめやす 65cm～75cmまで 年齢のめやす 6カ月頃～12カ月頃まで		使用不可	●ひとり座りができ、首がしっかりすわっていること。 ●角度インジケーターを使い、適切な角度に調節すること。
幼児用	●体重 10kg～18kg以下 身長のめやす 75cm～100cmまで 年齢のめやす 12カ月頃～4才頃まで	前向き 進行方向 【角度調節1～3段目で使用】	使用不可	●お子さまを座らせたとき、後頭部が背もたれの上から出ないこと。 ●専用の肩パッドを使用します。

⚠警告 肩ベルト穴の位置と肩ベルトの長さを調節し、さらに肩ベルトが正しく肩にかかっていることを確認してください。
⚠警告 新生児（生後１ヶ月未満）にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、お子さまから目をはなさないでください。
⚠警告 新生児から６ヶ月頃まではお子さまの負担を考え、１時間以上連続して使用しないでください。

取り付ける座席について

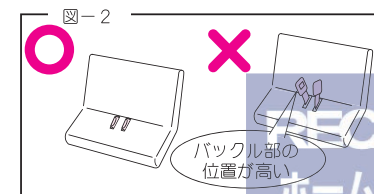
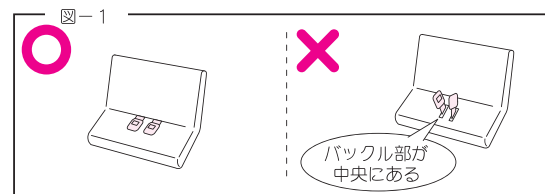
●取り付け方法は、下記の通りです。いずれも車両シートベルトを使用して確実に取り付けてください。

アドバイス チャイルドシートは前・後部座席に取り付け可能ですが、安全性がより高い後部座席への取り付けをおすすめします。

⚠警告 エアバッグの装備されている座席には後向き使用しないでください。エアバッグの作動により、生命の危険または、重大な障害につながるおそれがあります。
⚠警告 前部座席での後向き使用で運転のさまたげになる場合は、使用しないでください。

取り付けできない座席

⚠警告 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。取扱説明書どおりに固定できないと、衝突や急ブレーキの際、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

●シートベルトの付いていない座席。（チャイルドシートを固定できません）
●２点式シートベルトの座席。（チャイルドシートを固定できません）
●パッシブシートベルト（前部座席に座るとドアの開閉によって、自動的に装着・脱着されるタイプのシートベルト）のついた座席。（チャイルドシートを固定できません）
●シートベルトのバックル部が座席の中央からでている座席。（チャイルドシートを強く固定できません）／図－１
●３点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻取り式の座席。（チャイルドシートを固定できません）
●エアバッグが装備されている座席での後向き使用。（エアバッグの作動により、生命の危険につながるおそれがあります）
●車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません）
●車両座席の奥行きが４３cm以下の座席。（取り付けたチャイルドシートが安定しません）
●極端なバケットタイプなどの座席。（取り付けたチャイルドシートが安定しません）
●チャイルドシートを取り付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。（万一のとき乗員の安全が確保できません）
●車両バックルの位置が高く、チャイルドシートを固定できない座席。（チャイルドシートが固定できません）／図－２
●その他、チャイルドシートを固定できない座席。

図－１
図－２

注意事項

この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。

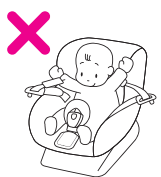
⚠警告

＊記載されている内容を守らないと、生命の危険
または、重大な傷害につながるおそれがあります。

チャイルドシートは取扱説明書どおりに固定してください。固定が不十分だと、衝突や急ブレーキの際、お子さまが車両から飛び出したり頭をフロントガラスなどにぶつけるおそれがあり危険です。

車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けて下さい。

お子さまの着座のたびに、必ずアジャストベルトを引き、お子さまを拘束してください。

ベルトカバーは必ず取り付けてご使用ください。

チャイルドシートに直射日光が当たると、金属部、ベルト部、樹脂部、幼児専用肩パッドのゴム部などが熱くなることがあり、やけどをする可能性があります。チャイルドシートを使用していないときはタオルなどをかけておき、使用するときは金属部やプラスチック部が熱くないことを確認してから、お子さまを座らせてください。

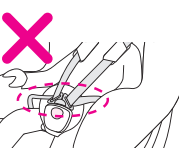
お子さまを車内にひとりで放置することはおやめください。不慮の事故につながるおそれがあります。

エアバッグの装備されている座席には後向き使用しないでください。作動したエアバッグにより、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまが、バックルのプレスボタンを押さないように注意してください。ときどき、タングプレートがバックルからはずれていないことを確認してください。

衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。

チャイルドシートのバックルをはずしたままでのご使用は危険ですので、絶対におやめください。

お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。

腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。

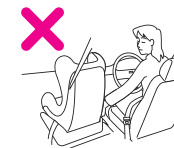
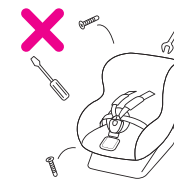
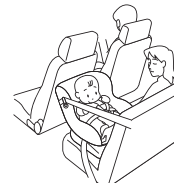
チャイルドシートで、人に危害をあたえることは、絶対に行わないでください。

⚠警告

＊記載されている内容を守らないと、生命の危険
または、重大な傷害につながるおそれがあります。

チャイルドシートを助手席に取り付けたとき、チャイルドシートとシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。

後部座席に人が乗る場合の２ドア・３ドア車の助手席や、１ＢＯＸ車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

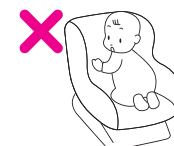
お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートはトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。

運転中にチャイルドシートの操作（ベルト調節・角度調節などの操作）をしないでください。
かならず安全な場所に停車して行ってください。

チャイルドシートを改造したり、カバー類・ウレタンなどは取りはずして使用しないでください。

新生児(生後１ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
また、お子さまの負担を考え１時間以上連続して使用しないでください。

⚠注意

＊記載されている内容を守らないと、傷害または、
事故につながるおそれがあります。

お子様を乗せる際には、チャイルドシートの取り付け状態を再度確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。（確認は停車し、安全な状態で行ってください）

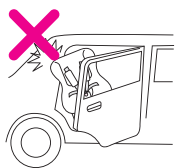
チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取り外しはおやめください。

チャイルドシートのロック部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。

お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。

チャイルドシートを保管する時には、長期間屋外に放置しないでください。

車両シートベルト及びチャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。万一のとき、ベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり、危険です。傷付いたベルトのご使用は避け、お買い求めの販売店、または取説裏面のお客様相談室にご相談ください。

⚠注意

＊記載されている内容を守らないと、傷害または、事故につながるおそれがあります。

可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにしてチャイルドシートを取り付けてください。

チャイルドシートを取り付ける際は、取り付ける車両のマニュアルも併せてお読みください。

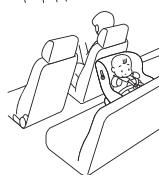
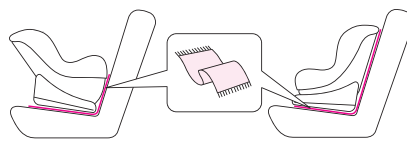
衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかり固定しておいてください。

チャイルドシートを取り付けたとき、車両のドアや、シートなど堅い部分と干渉したり、手を挟まれたりすることのないよう確認してください。

チャイルドシートは、車両以外でのご使用をおやめください。

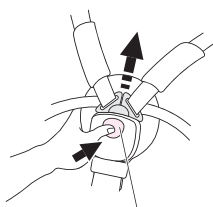
アドバイス

＊より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。

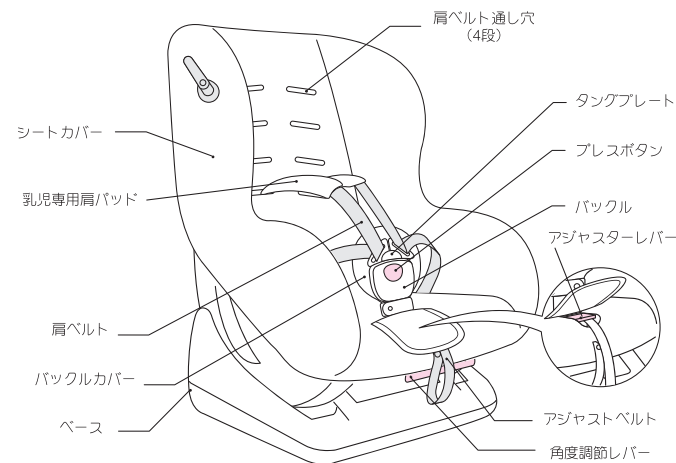
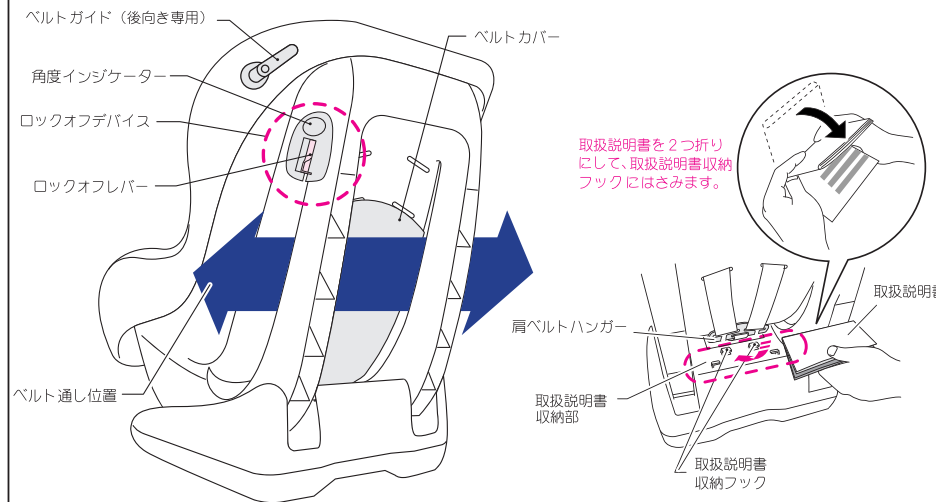
チャイルドシートは、安全性がより高い後部座席への取り付けをおすすめします。

後向き使用のときは運転席の後部座席へ取り付けると肩ベルトが邪魔になりません。（右ハンドルで助手席側からの乗せ降ろし時）
＊車道側からの乗せ降ろしは危険ですので、歩道側から行ってください。

後向き使用　　前向き使用

車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。
チャイルドシートと車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。

緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

1 バックルのプレスボタンを押し、タングプレートをはずします。

2 お子さまをチャイルドシートから降ろし、車外へ連れ出してください。

プレスボタンを押しても、タングプレートがはずれない場合は、鋭利な刃物でベルトを切ってください。

肩ベルト通し穴（4段）
タングプレート
プレスボタン
バックル
アジャスターレバー
シートカバー
乳児専用肩パッド
肩ベルト
バックルカバー
ベース
アジャストベルト
角度調節レバー

ベルトガイド（後向き専用）
ベルトカバー
角度インジケーター
ロックオフデバイス
ロックオフレバー
ベルト通し位置

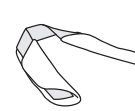
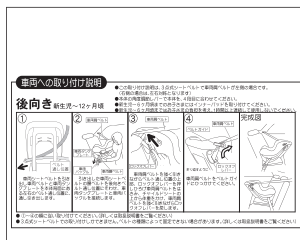
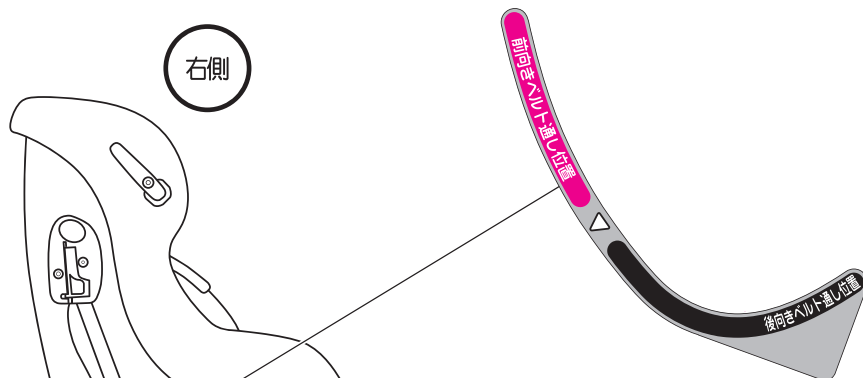
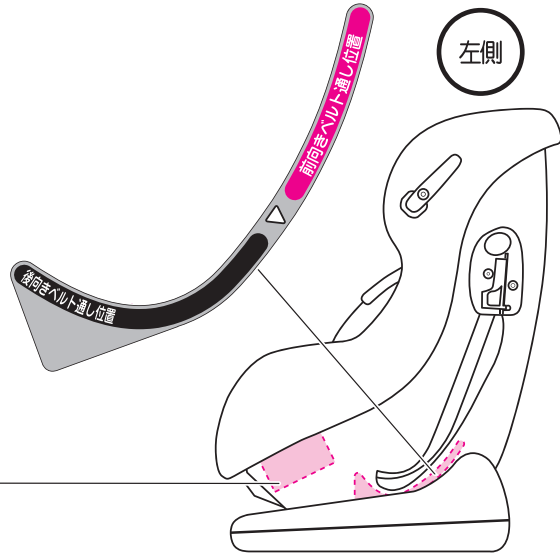
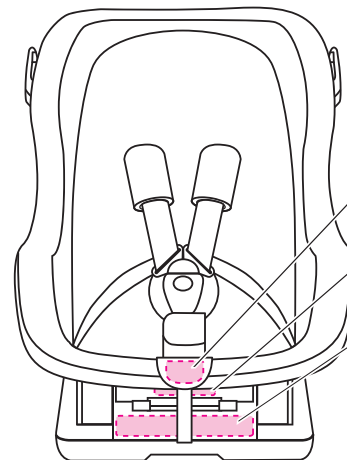
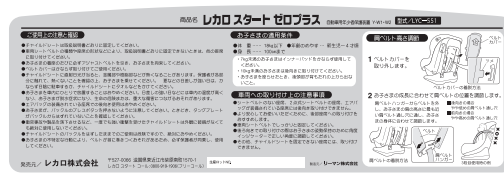
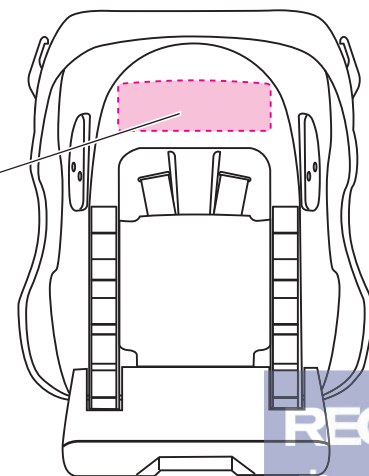
取扱説明書を２つ折りにして、取扱説明書収納フックにはさみます。

肩ベルトハンガー
取扱説明書
取扱説明書収納部
取扱説明書収納フック

※ベルトカバー取り外し時

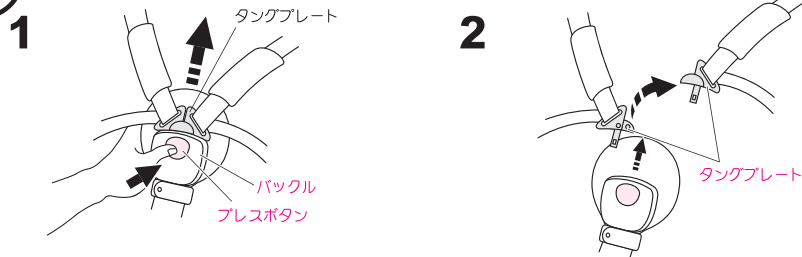
寸法：W490×D515×H670

付属品

取扱説明書（保証書付）
必ず投函してください
お客様登録カード
幼児専用肩パッド
※幼児用前向き取り付け時に使用します。（詳しくはP31参照）
インナーパッド

⚠警告　各機能の操作は、かならず停車中におこなってください。走行中におこなうと運転のさまたげになり、思わぬ事故の原因となり危険です。

バックル解除・ロック

⚠警告　チャイルドシートのバックルをはずしたままでのご使用は、危険ですので絶対におやめください。

解除

1 バックル内プレスボタンを押しタングプレートをはずします。

2 2枚に合わされたタングプレートを上下に分け、はずします。

ロック

1 左右のタングプレートを上下に合わせます。

2 2枚に合わせたタングプレートをバックル穴に「カチッ」という音がするまで、差し込みます。

3 タングプレートがはずれないことを手で確認してください。

角度調節レバーの使い方

●角度調節は4段階ありますが、1～3段目は前向き／4段目は後向きに使用します。

●前向きの時１～３段目は、取付け車両の座席角度に合わせてご使用ください。

⚠警告　角度調節位置がロックされていないと、事故時に、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意　角度調節操作の際、手や指をはさまないようご注意ください。

新生児～12カ月　後向き角度調節

対象　体重　～10kg未満　身長　～75cmまで

チャイルドシートを後ろ向きに使用する場合4段目に調節します。

1

・角度調節レバーを引きロックを解除します。

2

・角度調節レバーを手前に引上げながら、4段目（本体が一番倒れた状態）にします。

（角度調節位置は本体シールの目印を確認してください。）

アドバイス
角度調節レバーが戻らない場合は角度調節位置に正しくセットされていない状態です。チャイルドシートを軽く前後に動かし、角度調節レバーがロックされていることを確認してください。

⚠警告　お子さまの体重が10kg未満の時、前向き用角度調節位置1～3段目で使用すると事故時に生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

12カ月～4才頃　前向き3段階角度調節

対象　体重10kg～18kg以下　身長75cm～100cmまで

チャイルドシートを前向きに使用する場合1～3段階に調節します。

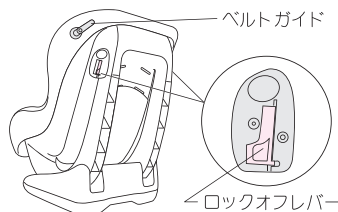
1

・**角度調節レバーを引きロックを解除します。**

2

・**車両シート角度に合わせて3段階に調節します。**

（角度調節位置は本体シールの目印を確認してください。）

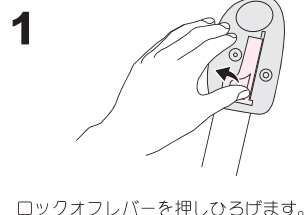
ロックオフレバー及びベルトガイドの使い方

●ロックオフレバーは、チャイルドシートを確実に車両に固定するためのものです。かならず使用してください。
●ロックオフレバーは、本体の左右に各１個づつありますが、取り付ける座席の位置により左右どちらかのロックオフレバーを使用します。
●後向きの場合は、ロックオフレバーで車両肩ベルトを固定後、さらに車両肩ベルトをベルトガイドにひっかけてください。

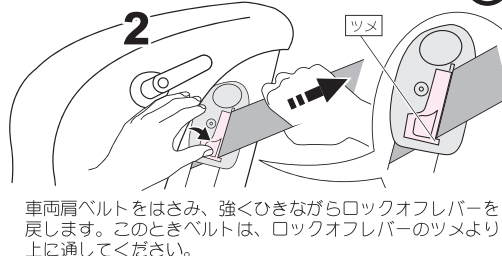
⚠警告　ロックオフレバーは、チャイルドシートを車両シートベルトにより固定する際、確実に取り付けるためのものです。かならずロックオフレバーをご使用ください。使用しないと衝撃や急ブレーキの際、チャイルドシートが固定されず危険です。

⚠警告　ご使用の前に取り付け可能な座席であることを確認してください。（P2取り付けできない座席参照）取扱説明書どおりに取り付けができない場合は、無理に取り付けないでください。万一のとき、チャイルドシートが十分な効果を発揮しないばかりか、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠注意　ロックオフレバーを操作する際、手や指などをはさまないよう注意してください。

ロック

1

ロックオフレバーを押しひろげます。

2

車両肩ベルトをはさみ、強くひきながらロックオフレバーを戻します。このときベルトは、ロックオフレバーのツメより上に通してください。

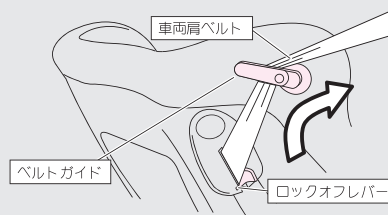
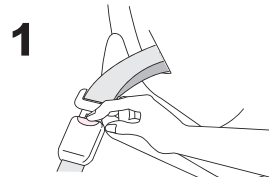
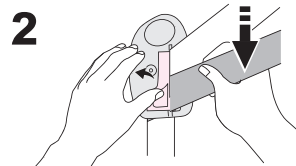
3 ＊後向きの場合のみ

車両肩ベルトをロックオフレバーにはさんだ後、ベルトガイドにひっかけます。

解除

1

車両バックルを解除します。

2

ロックオフレバーを押し広げ、車両肩ベルトをはずします。ロックオフレバーは自動的に戻ります。

お子さまの座らせ方

車両に取り付ける前にお子さまの成長に合せて各部を調節し乗せてください。

⚠警告　お子さまの着座のたびに、かならずアジャストベルトを引きお子さまを拘束してください。万一のときベルトが本来の機能をはたさず、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

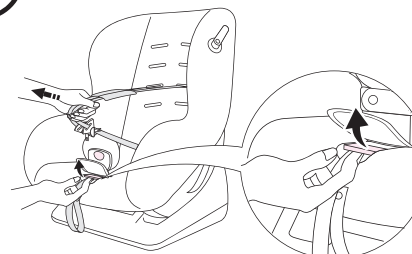
⚠警告　バックル部分は、常に清潔にしておいてください。異物が詰まるなどするとタングを確実にロックできなくなるなり本来の機能をはたさず、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

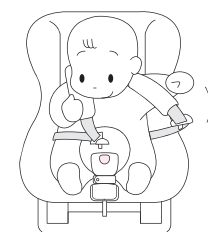
⚠警告　腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用してください。腹部に腰ベルトがかかっていると本来の機能をはたさず生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告　運転前にタングがバックルに差し込まれておりタングが抜けないことを確認してください。タングが抜けると衝突や急ブレーキなどの時、本来の機能をはたさず生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告　お子さまがチャイルドシートを使用中は、お子さまがバックルに触れないように注意してください。バックルに触れ、外れると本来の機能をはたさず、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

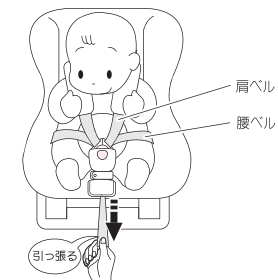
着座

1

バックルを解除し、アジャスターレバーを引き上げ肩ベルトを引き出します。
（P9バックルの解除・ロック参照）

2

お子さまを座らせ肩ベルトに左右の腕を通します。このとき、お子さまの肩の高さに合わせて肩ベルトの高さを調節してください。
（P 13 肩ベルトの高さ調節参照）

3

バックルとタングプレートをロックします。
（P9バックル解除・ロック参照）

4

アジャストベルトを引き肩ベルトのゆるみを取ります。このとき腰ベルトのたるみも取り、再度アジャストベルトを引きお子さまを拘束します。

アドバイス　肩ベルトの拘束のめやすとしては、お子さまの鎖骨と肩ベルトの間に指一本が入る程度。

●バックルとタングプレートが確実にロックされていること。
●肩ベルトおよびアジャストベルトにねじれがないこと。
●アジャストベルトが確実にロックされていること。
●肩ベルトがしっかりお子さまを拘束していること。
●肩ベルトハンガーに肩ベルトが正しく取り付いていること。
●お子さまの骨盤がしっかり拘束されているように腰ベルトを着用していること。

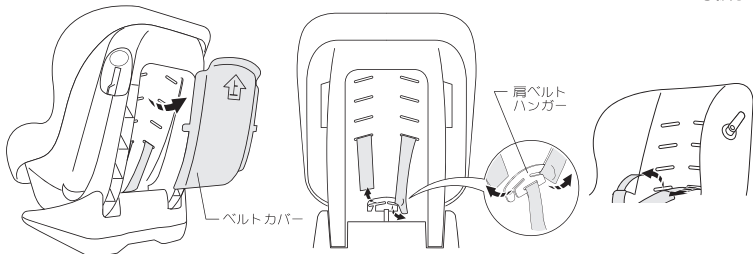
肩ベルトの高さ調節

お子さまの成長に合わせて肩ベルトの位置を調節します。

⚠警告 肩ベルトの位置はお子さまの体格に合わせて、かならず調節してください。万一のとき、チャイルドシートが十分効果を発揮しないおそれがあります。

アドバイス　前向きで使用される場合は、肩パッドは**かならず幼児専用肩パッド**に付けかえてください。
※詳しくは本書P31「幼児専用肩パッドの使い方」参照

調節

1　本体背面のベルトカバーをはずし、肩ベルトハンガーから肩ベルトをはずし、肩ベルト通し穴から抜き取ります。

2　お子さまを座らせ、肩の高さに最も近い肩ベルト通し穴にベルトを通します。

前向きの場合
P31「幼児専用肩パッドの使い方」参照

肩と同じ高さかやや高めの肩ベルト通し穴

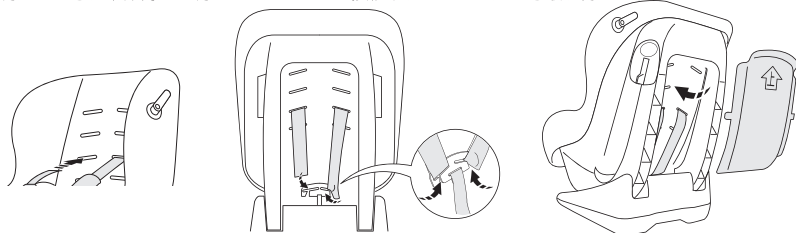
⚠警告 肩ベルトの高さはお子さまの肩と同じ高さかやや高めの肩ベルト通し穴を使用してください。
その位置以外で使用されますと、万一のとき肩ベルトが本来の機能をはたさず生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

後向きの場合

肩と同じ高さかやや低めの肩ベルト通し穴

⚠警告 肩ベルトの高さはお子さまの肩と同じ高さかやや低めの肩ベルト通し穴を使用してください。
その位置以外で使用されますと、万一のとき肩ベルトが本来の機能をはたさず生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注意 かならず肩ベルトを左右同じ高さのベルト通し穴に通してください。
⚠注意 肩ベルトおよび、アジャストベルトはねじれないように、肩ベルトハンガーに取り付けてください。

3　肩ベルトを、本体背面の肩ベルトハンガーに接続し、ベルトカバーを取り付けます。

⚠警告 お子さまの着座のたび、かならずアジャストベルトを引き（P12お子さまの座らせ方参照）お子さまを拘束してください。万一のとき肩ベルトが本来の機能をはたさず生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告 ベルトカバーはかならず取り付けてご使用ください。万一のとき肩ベルトが本来の機能をはたさず生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

取り付け可能な車両シートベルト

＊まず取り付け可能な車両シートベルトの種類を確認してください。

●本装置は車両が３点式／巻取装置なし／巻取装置付座席ベルトを装着している場合に使用できます。
●２点式シートベルトには取り付けできません。
●車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。
チャイルドシートを正しく安全に使用するために、お客さまの車両（シートベルト）に合った取り付け方法で装着してください。

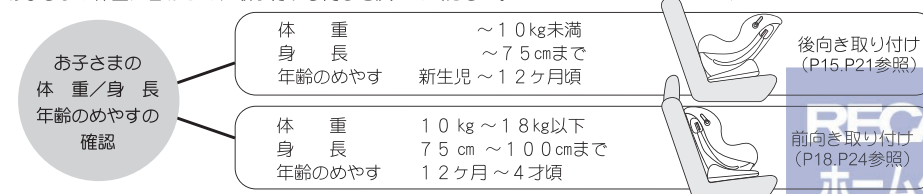
●車両シートベルト種類　（○：取り付け可能　×：取り付け不可）

	巻取装置有り							巻取装置無し
	ＥＬＲ付		ＡＬＲ付		ＮＬＲ付		パッシブ	
	肩側	腰側	肩側	腰側	肩側	腰側		
３点式	○	×	○	○	○	○	×	○

	特　長	本装置の取り付け注意点	取付可能
ELR・ALR付 ３点式シートベルト （チャイルドシート固定機構付ベルト巻取装置）	通常はELRベルトとして機能しますが、ベルトを全量引き出すとALR機能に切り替わり、戻す方向にベルトが自動的にしまるシートベルトです。また、ベルト全量戻したときにはELR機能に戻ります。	チャイルドシートをロックオフレバーでしっかりと固定してから、シートベルトを全部引き出し、ALR機能に切り換えてください。 ⚠注意 取り付けの際は、装着車両の取扱説明書もお確かめください。	○
ALR付 ３点式シートベルト （自動ロック式ベルト巻取装置）	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。	チャイルドシートを固定するのに必要なだけの長さを一気に引き出してから、チャイルドシートをロックオフレバーでしっかりと固定してください。	○
ELR付 ３点式シートベルト （緊急ロック式ベルト巻取装置）	通常は、ベルトが自由に出入りし、衝撃（急ブレーキなど）を感知したときに、ベルトがその時点で伸びなくなりロックされます。	肩ベルトをロックオフレバーでしっかりと固定してください。	○
NLR付 ３点式シートベルト	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻き取り装置から全量引き出し、本体の取り付けにあわせシートベルトの長さを調節し固定します。	○
パッシブシートベルト	前部座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	チャイルドシートを固定することができません。	×
その他のシートベルト	表記載されていないものすべて。	チャイルドシートを固定することができません。	×

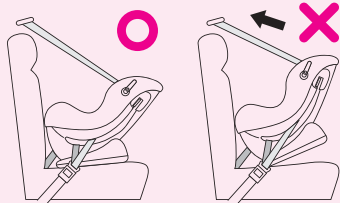
⚠警告 ２点式シートベルトには取り付けできません。
⚠警告 シートベルトの種類や形状などにより確実にチャイルドシートが取り付けできないときは、使用しないでください。確実に取り付けないと衝突や急ブレーキの際、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

取り付ける向きの決定

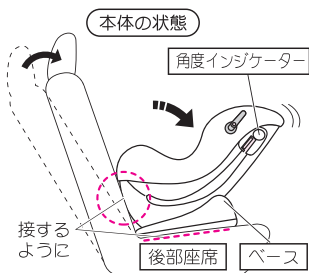
＊お子さまの体重に合わせて、取り付ける向きを決めてください。

新生児〜12カ月 車両進行方向に対して後向き

対象 体重 〜10kg未満
身長 〜75cmまで

車両３点式シートベルトで取り付けます。

取り付けに関して各種のシートベルト別の注意点は、P 14「取り付け可能な車両シートベルト」の本装置の取り付け注意点を参考に取り付けてください。

⚠警告 車両シートベルトの種類により、車両への固定方法が異なります。P14の「取り付け可能な車両シートベルト」を参照の上、確実にチャイルドシートを固定してください。

⚠警告 ＥＬＲ・ＡＬＲ付３点式シートベルトの場合、装着後全量引き出してご使用ください。肩ベルトを必要以上に巻き上げないでください。（左図内／➡矢印方向）
巻き上げすぎた場合、装着をやり直してください。

⚠注意 ロックオフレバーを操作する際、手や指などをはさまないよう注意してください。

- 車両リクライニング付座席背もたれは起こしてください。
- お子さまに合わせて、肩ベルトの高さを調節してください。（P 13 肩ベルトの高さ調節参照）
- 作業スペース確保の為、車両前部座席を前にスライドさせてください。
- 本体の角度調節レバーで本体を、４段目に合わせてください。（P 10 角度調節レバーの使い方参照）
- 本体を車両進行方向に対し、後向きにし、後部座席の背もたれにすき間なく接するように置きます。
- チャイルドシート底面が車両座席座面に接するようにしてください。
- 角度インジケーターのボールがセーフティーゾーンの中に完全に入るように角度調節をしてください。（下記角度インジケーター参照）

角度インジケーター

- 新生児〜12ケ月頃までの後向き取り付けで正しい角度で取り付けをするために使用します。（車が水平な状態で行ってください）

- 新生児〜12ケ月頃までの後向きで、安全・快適に使用していただける角度は約45°です。シート背面を約45°に保つためにインジケーターのボールがセーフティーゾーンの中に完全に入るように角度を調節してください。(車が水平な状態で行ってください)

※セーフティーゾーンに入らないときはクッションなど本体の下に入れて調節してください。

1

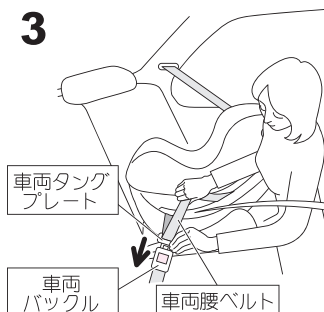
・車両シートベルトを引き出します。

⚠警告 車両シートベルトの種類により、車両座席への固定ができない場合があります。P 14の「取り付け可能な車両シートベルト」を参照の上、確実に固定してください。

2

・引き出した車両シートベルトと車両タングプレートを、本体背面にある左右のベルト通し位置に通します。

⚠注意 車両腰ベルトがねじれないように注意してください。

3

・ベルト通し位置に通した車両腰ベルトを後向きベルト通し位置にそわせます。

・車両タングプレートと車両バックルを接続します。

⚠注意 車両腰ベルトがねじれないように注意してください。

4

・車両肩ベルトを強く引きながら、ベルト通し位置上部のロックオフレバーを押し広げ、車両肩ベルトをはさみます。

・車両肩ベルトは、ロックオフレバーのツメより上に通してください。

5

・車両肩ベルトが、ロックオフレバーに正しくはさまれていることを確認後、チャイルドシートの上から体重をかけ、車両肩ベルトを強く引きながらロックオフレバーを戻します。

6

・ロックオフレバーが戻っていることを確認後、車両肩ベルトを、ベルトガイドにひっかけてください。

※ この時、車両肩ベルトにシワが寄りますが安全性には問題ありません。

●車両ドア側から見た完成図
＊後部座席左側に取り付けた例

●車両内側から見た完成図
＊後部座席左側に取り付けた例

完了チェック

＊完了チェックはかならずおこなってください。

●チャイルドシートの肩ベルトの高さが適正であること。
●本体をたおした状態であること。（角度インジケーターのボールがセーフティゾーンに完全に入っていること）
●車両タングプレートと車両バックルが確実に接続されていること。
●車両腰ベルトにねじれがないこと。
●車両シートベルトが強く張るように調節されていること。
●車両肩ベルトがロックオフレバーでしっかりはさんで固定されていること。（ツメより上）
●車両肩ベルトがベルトガイドに確実にひっかけてあること。

以上の項目をチェック後

本体の車両シートベルトで固定した部分を前後左右にゆすり、ベース部分がずれないことを確認してください。

●ベース部分がずれる場合は、もう一度、取り付け手順の1～6までの順序で取り付けをやり直してください。

12ヵ月～4才頃

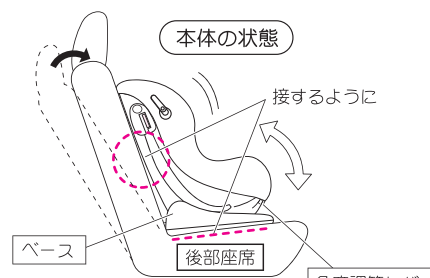
車両進行方向対して前向き

対象 体重10kg～18kg以下 身長75cm～100cmまで

車両３点式シートベルトで取り付けます。

取り付けに関して各種のシートベルト別の注意点は、P 14「取り付け可能な車両シートベルト」の本装置の取り付け注意点を参考に取り付けてください。

⚠警告 車両シートベルトの種類により、車両への固定方法が異なります。P14の「取り付け可能な車両シートベルト」を参照の上、確実にチャイルドシートを固定してください。

⚠注意 ロックオフレバーを操作する際、手や指などをはさまないよう注意してください。

●車両リクライニング付座席背もたれは起こしてください。
●お子さまに合わせて、肩ベルトの高さを調節してください。（P 13 肩ベルトの高さ調節参照）
●作業スペース確保の為、車両前部座席を前にスライドさせてください。
●本体を車両進行方向に対し、前向きにおきます。
●本体の角度調節レバーで、取り付ける車両座席のもたれ角度に合わせてください。（P 10 角度調節レバーの使い方参照）
●チャイルドシートの底面･裏面が車両座席座面に接するようにしてください。

アドバイス

●チャイルドシートと自動車の座席とのすき間によりガタツキが生じると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。
左図のようにクッションなどいれてチャイルドシートを固定してください。

クッションなど

●自動車のバックルの先端部がベルト通し位置より前に位置する場合、チャイルドシートを車両シートベルトで締め付けてもガタツキが生じ、事故のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。
この場合はチャイルドシートと座席の間に硬めのクッションなどを入れて、バックルがベルト通し位置より後ろにくるように位置を調節したうえ、チャイルドシートを固定してください。

クッションなど

1

・車両シートベルトを引き出します。

⚠警告 車両シートベルトの種類により、車両座席への固定ができない場合があります。P 14の「取り付け可能な車両シートベルト」を参照の上、確実に固定してください。

2

・引き出した車両シートベルトと車両タングプレートを、本体背面にある左右のベルト通し位置に通します。

⚠注意　車両腰ベルトがねじれないように注意してください。

3

・引き出した車両腰ベルトを前向きベルト通し位置にそわせます。

・車両タングプレートと車両バックルを接続します。

⚠注意　車両腰ベルトがねじれないように注意してください。

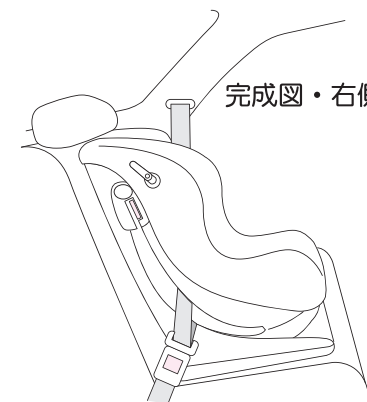
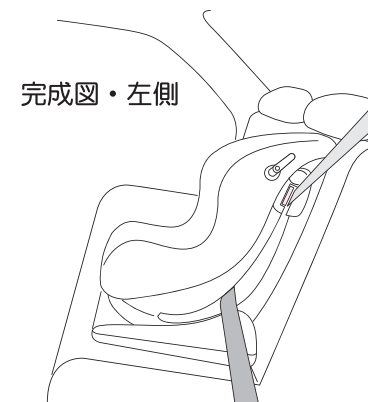
4

・車両肩ベルトを強く引きながら、ベルト通し位置上部のロックオフレバーを押し広げ、車両肩ベルトをはさみます。

・車両肩ベルトは、ロックオフレバーのツメより上に通してください。

5

・車両肩ベルトがロックオフレバーに正しくはさまれていることを確認し、チャイルドシートの上から体重をかけ、車両肩ベルトを強く引きながらロックオフレバーを戻します。

●車両ドア側から見た完成図
＊後部座席左側に取り付けた例

●車両内側から見た完成図
＊後部座席左側に取り付けた例

完了チェック　＊完了チェックはかならずおこなってください。

●チャイルドシートの肩ベルトの高さが適正であること。
●車両タングプレートと車両バックルが確実に接続されていること。
●車両シートベルトにねじれがないこと。
●車両シートベルトが強く張るように調節されていること。
●車両肩ベルトがロックオフレバーでしっかりはさんで固定されていること。（ツメより上）

以上の項目をチェック後
本体の車両シートベルトで固定した部分を前後左右にゆすり、ベース部分がずれないことを確認してください。

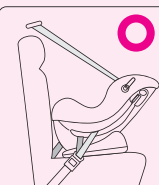
●ベース部分がずれる場合は、もう一度、取り付け手順の1～5までの順序で取り付けをやり直してください。

RECARO Start 0+

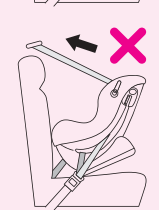
新生児～12ヶ月頃 車両進行方向対して後向き

対象	体重	～10kg未満
	身長	～75cmまで

車両３点式シートベルトで取り付けます。

取り付けに関して各種のシートベルト別の注意点は、Ｐ14「取り付け可能な車両シートベルト」の本装置の取り付け注意点を参考に取り付けてください。

⚠警告　エアバッグの装備されている座席でのご使用はおやめください。作動したエアバッグにより、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

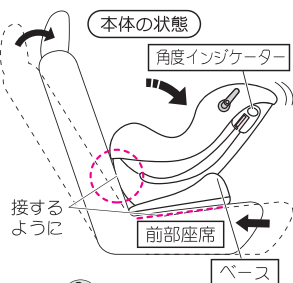
⚠警告　車両シートベルトの種類により、車両への固定方法が異なります。P14の「取り付け可能な車両シートベルト」を参照の上、確実にチャイルドシートを固定してください。

⚠警告　**ＥＬＲ・ＡＬＲ付３点式シートベルトの場合、装着後全量引き出してご使用ください。肩ベルトを必要以上に巻き上げないでください。（左図内／➡矢印方向）巻き上げすぎた場合、装着をやり直してください。**

肩ベルトを必要以上に巻き上げないこと。

⚠警告　チャイルドシートを助手席に取り付けたとき、チャイルドシートとシフトノブやサイドブレーキが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。干渉するとシフトチェンジやサイドブレーキの操作がさまたげられ、大変危険です。

⚠警告　前部座席取り付けの際、チャイルドシートが車両のドアミラーなどを隠し、後方視界を著しくさまたげる場合には、他の座席でご使用ください。

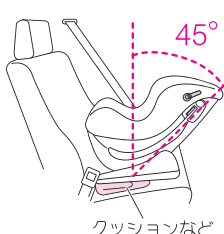
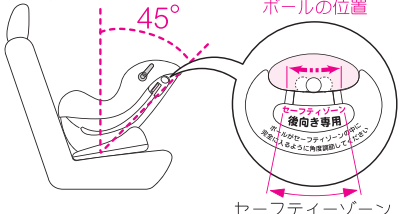
⚠警告　後部座席に人が乗る場合の２ドア・３ドア車の助手席や、１ＢＯＸ車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

⚠注意　ロックオフレバーを操作する際、手や指などをはさまないよう注意してください。

- 車両前部座席を一番後ろへスライドさせてください。
- 車両リクライニング付座席背もたれは起こしてください。
- お子さまに合わせて、肩ベルトの高さを調節してください。（P13 肩ベルトの高さ調節参照）
- 本体の角度調節レバーで本体を、４段目に合わせてください。（P10 角度調節レバーの使い方参照）
- 本体を車両進行方向に対し、後向きにし、前部座席の背もたれにすき間なく接するように置きます。
- チャイルドシート底面が車両座席座面に接するようにしてください。
- 角度インジケーターのボールがセーフティーゾーンの中に完全に入るように角度調節をしてください。（下記角度インジケーター参照）

アドバイス
チャイルドシートは前・後部座席に取り付け可能ですが、より安心してご使用していただくために後部座席への取り付けをおすすめします。

角度インジケーター

- 新生児～12ヶ月頃までの後向き取り付けで正しい角度で取り付けをするために使用します。（車が水平な状態で行ってください）

45°　ボールの位置　セーフティーゾーン

45°　クッションなど

- 新生児～12ヶ月頃までの後向きで、安全・快適に使用していただける角度は約45°です。シート背面を約45°に保つために角度インジケーターのボールがセーフティーゾーンの中に完全に入るように角度を調節してください。（車が水平な状態で行ってください）

※セーフティーゾーンに入らないときはクッションなど本体の下に入れて調節してください。

1

・車両シートベルトを引き出します。

⚠警告　車両シートベルトの種類により、車両座席への固定ができない場合があります。Ｐ14の「取り付け可能な車両シートベルト」を参照の上、確実に固定してください。

2

・引き出した車両シートベルトと車両タングプレートを、本体背面にある左右のベルト通し位置に通します。

⚠注意　車両腰ベルトがねじれないように注意してください。

3

・引き出した車両腰ベルトを後向きベルト通し位置にそわせます。

・車両タングプレートと車両バックルを接続します。

⚠注意　車両腰ベルトがねじれないように注意してください。

4

・車両肩ベルトを強く引きながら、ベルト通し位置上部のロックオフレバーを押し広げ、車両肩ベルトをはさみます。

・車両肩ベルトは、ロックオフレバーのツメより上に通してください。

5

・車両肩ベルトが、ロックオフレバーに正しくはさまれていることを確認後、チャイルドシートの上から体重をかけ、車両肩ベルトを強く引きながらロックオフレバーを戻します。

6

・ロックオフレバーが戻っていることを確認後、車両肩ベルトを、ベルトガイドにひっかけてください。

※　この時、車両肩ベルトにシワが寄りますが安全性には問題ありません。

●車両ドア側から見た完成図
＊後部座席左側に取り付けた例

●車両内側から見た完成図
＊後部座席左側に取り付けた例

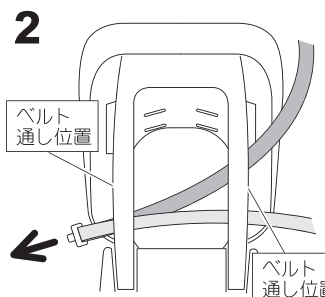
完了チェック

＊完了チェックはかならずおこなってください。

●チャイルドシートの肩ベルトの高さが適正であること。
●本体をたおした状態であること。(角度インジケーターのボールがセーフティゾーンに完全に入っていること)
●車両タングプレートと車両バックルが確実に接続されていること。
●車両腰ベルトにねじれがないこと。
●車両シートベルトが強く張るように調節されていること。
●車両肩ベルトがロックオフレバーでしっかりはさんで固定されていること。（ツメより上）
●車両肩ベルトがベルトガイドに確実にひっかけてあること。

以上の項目をチェック後

本体の車両シートベルトで固定した部分を前後左右にゆすり、ベース部分がずれないことを確認してください。

●ベース部分がずれる場合は、もう一度、取り付け手順の1～6までの順序で取り付けをやり直してください。

12ヶ月頃～4才頃　車両進行方向対して前向き

対象　体重10kg ～18kg以下
身長75cm～100cmまで

車両３点式シートベルトで取り付けます。

取り付けに関して各種のシートベルト別の注意点は、Ｐ14「取り付け可能な車両シートベルト」の本装置の取り付け注意点を参考に取り付けてください。

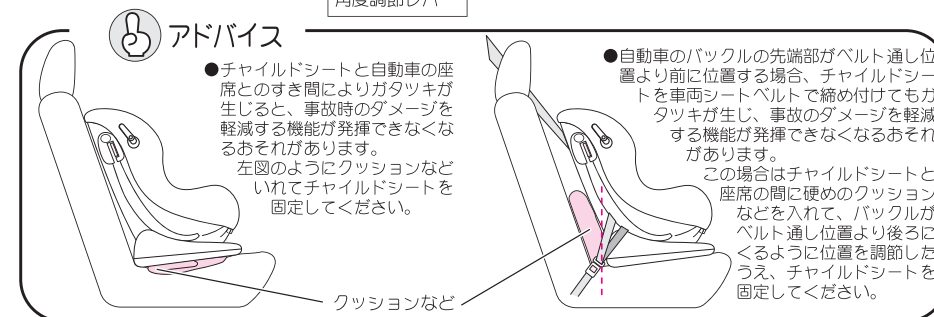
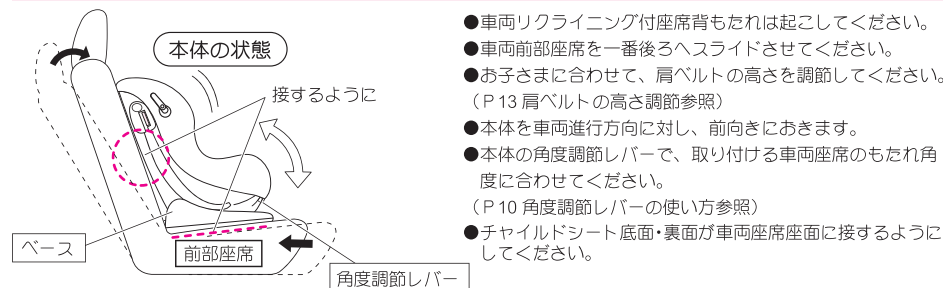
⚠警告　エアバッグの装備されている座席には後向き使用しないでください。エアバッグの作動により、生命の危険または、重大な障害につながるおそれがあります。

⚠警告　チャイルドシートを助手席に取り付けたとき、チャイルドシートとシフトノブやサイドブレーキが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。干渉するとシフトチェンジやサイドブレーキの操作がさまたげられ、大変危険です。

⚠警告　前部座席取り付けの際、チャイルドシートが車両のドアミラーなどを隠し、後方視界を著しくさまたげる場合には、他の座席でご使用ください。

⚠警告　後部座席に人が乗る場合の２ドア・３ドア車の助手席や、１ＢＯＸ車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

⚠注意　ロックオフレバーを操作する際、手や指などをはさまないよう注意してください。

●車両リクライニング付座席背もたれは起こしてください。
●車両前部座席を一番後ろへスライドさせてください。
●お子さまに合わせて、肩ベルトの高さを調節してください。
（Ｐ13 肩ベルトの高さ調節参照）
●本体を車両進行方向に対し、前向きにおきます。
●本体の角度調節レバーで、取り付ける車両座席のもたれ角度に合わせてください。
（Ｐ10 角度調節レバーの使い方参照）
●チャイルドシート底面・裏面が車両座席座面に接するようにしてください。

アドバイス

●チャイルドシートと自動車の座席とのすき間によりガタツキが生じると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。
左図のようにクッションなどいれてチャイルドシートを固定してください。

●自動車のバックルの先端部がベルト通し位置より前に位置する場合、チャイルドシートを車両シートベルトで締め付けてもガタツキが生じ、事故のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。
この場合はチャイルドシートと座席の間に硬めのクッションなどを入れて、バックルがベルト通し位置より後ろにくるように位置を調節したうえ、チャイルドシートを固定してください。

1

・車両シートベルトを引き出します。

⚠警告　車両シートベルトの種類により、車両座席への固定ができない場合があります。Ｐ14の「取り付け可能な車両シートベルト」を参照の上、確実に固定してください。

2

・引き出した車両シートベルトと車両タングプレートを、本体背面にある左右のベルト通し位置に通します。

⚠注意　車両腰ベルトがねじれないように注意してください。

3

・引き出した車両腰ベルトを前向きベルト通し位置にそわせます。

・車両タングプレートと車両バックルを接続します。

⚠注意　車両腰ベルトがねじれないように注意してください。

4

・車両肩ベルトを強く引きながら、ベルト通し位置上部のロックオフレバーを押し広げ、車両肩ベルトをはさみます。

・車両肩ベルトは、ロックオフレバーのツメより上に通してください。

5

・車両肩ベルトがロックオフレバーに正しくはさまれていることを確認し、チャイルドシートの上から体重をかけ、車両肩ベルトを強く引きながらロックオフレバーを戻します。

アドバイス

＊より確実に固定するために

・より確実に固定するため、取り付けた後、車両座席を前にスライドさせたりリクライニングを起こしたりして固定します。

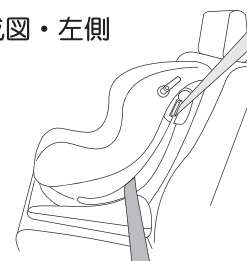
（チャイルドシートがシフトノブやサイドブレーキに干渉していないか確認してください。干渉する場合は前部座席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。）

⚠警告　チャイルドシートが干渉すると、シフトチェンジやサイドブレーキの操作がさまたげられ大変危険です。

●車両ドア側から見た完成図
＊前部座席左側に取り付けた例

●車両内側から見た完成図
＊前部座席左側に取り付けた例

完成図・左側

完成図・右側

完了チェック　＊完了チェックはかならずおこなってください。

●チャイルドシートの肩ベルトの高さが適正であること。
●車両タングプレートと車両バックルが確実に接続されていること。
●車両シートベルトにねじれがないこと。
●車両シートベルトが強く張るように調節されていること。
●車両肩ベルトがロックオフレバーでしっかりはさんで固定されていること。（ツメより上）

以上の項目をチェック後

本体の車両シートベルトで固定した部分を前後左右にゆすり、ベース部分がずれないことを確認してください。

●ベース部分がずれる場合は、もう一度、取り付け手順の1~5までの順序で取り付けをやり直してください。

前部座席への取り付け

シートカバーの取りはずし方

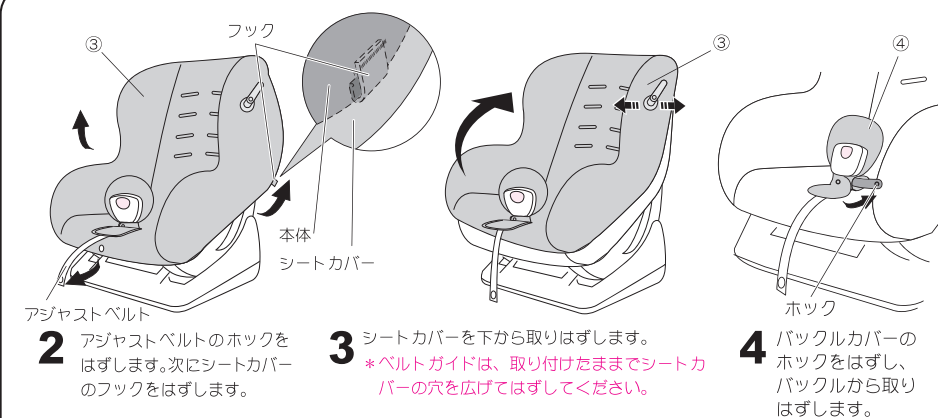
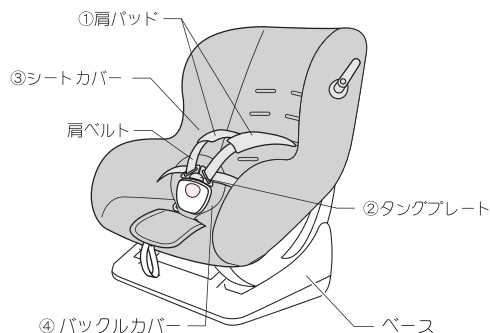
●①～④の部分を取りはずします。

⚠警告　バックル、ベースなどの分解はおやめください。故障の原因となります。

1 本体背面のベルトカバーをはずし、肩ベルトハンガーから肩ベルトをはずします。はずしたベルトを背中の肩ベルト通し穴から引き抜き、肩パッド(左右)・タングプレート(左右)を肩ベルトからはずします。

2 アジャストベルトのホックをはずします。次にシートカバーのフックをはずします。

3 シートカバーを下から取りはずします。
＊ベルトガイドは、取り付けたままでシートカバーの穴を広げてはずしてください。

4 バックルカバーのホックをはずし、バックルから取りはずします。

洗濯方法

●肩パッド・シートカバー・バックルカバーは、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
●脱水はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。

⚠注意　塩素系漂白剤のご使用はおやめください。
⚠注意　アイロン掛けは、おやめください。

日常のお手入れ方法

●樹脂部は水または、から拭きしてください。
●掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
●飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
●ガソリン・シンナーのご使用は、表面の生地や樹脂をいためますので、絶対におやめください。

シートカバーの取り付け方

●①～⑤の部分を取り付けます。

⚠警告　バックル、ベースなどの分解はおやめください。故障の原因となります。

1 バックルカバーをバックルに巻き付け、ホックでとめます。

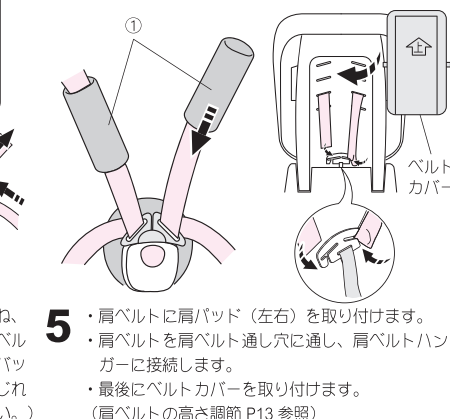
2 シートカバーを本体の形状に合うように上からかぶせていきます。
・シートカバーの穴を広げて、ベルトガイドを通します。
・バックルをシートカバー中央の穴から引き出します。
・肩ベルトをシートカバーから引き出します。
・シートカバーのフック（左右）を本体にひっかけます。
・シートカバーにアジャストベルトのホックを取り付けます。

⚠警告　専用カバー以外は使用しないでください。
⚠警告　カバー類は必ず取り付けて使用してください。

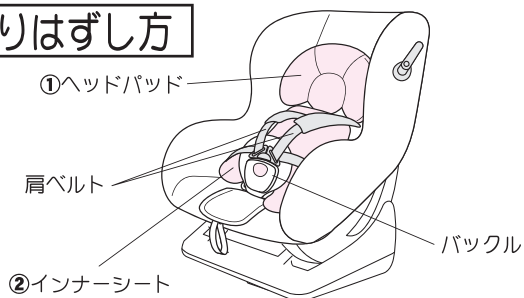
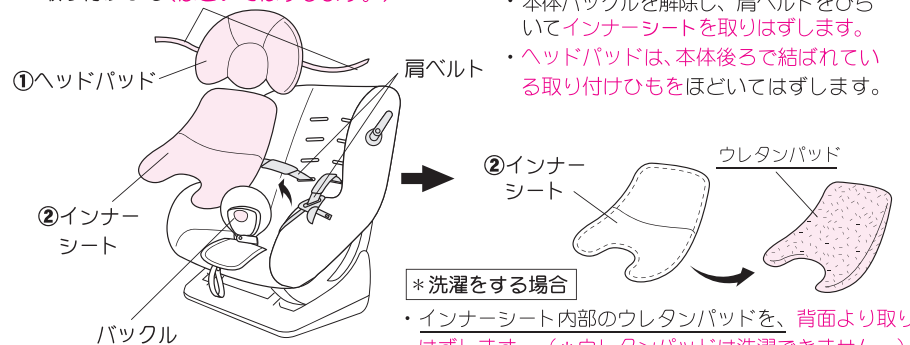
3 肩ベルトをたるみがないよう、止まるまで引き出しておきます。

4 タングプレートをそれぞれ重ね、表側を前にしてください。肩ベルトをタングプレートに通し、バックルに差し込みます。（＊ねじれのないように注意してください。）

5 ・肩ベルトに肩パッド（左右）を取り付けます。
・肩ベルトを肩ベルト通し穴に通し、肩ベルトハンガーに接続します。
・最後にベルトカバーを取り付けます。
（肩ベルトの高さ調節 P13 参照）

●ベルトガイドがすべてシートカバーからでていること。
●肩ベルト及びアジャストベルトにねじれがないこと。
●肩ベルトが肩ベルトハンガーにしっかり接続されていること。
●タングプレートの表側が、正面を向いていること。
●もう一度、取り付け手順を確認してください。

●7kg未満（新生児～6ヶ月頃）までのお子さまを乗せる場合、インナーパッドをご使用ください。
●インナーパッド使用時は、必ず本体を後向きでご使用ください。

⚠注意　チャイルドシートを運ぶときは、インナーパッドをつかまないでください。
⚠注意　はずしたインナーパッドは、車内に放置しないでください。

インナーパッドの取りはずし方

●①～②の部分を取りはずします。

・本体バックルを解除し、肩ベルトをひらいてインナーシートを取りはずします。
・ヘッドパッドは、本体後ろで結ばれている取り付けひもをほどいてはずします。

＊洗濯をする場合
・インナーシート内部のウレタンパッドを、背面より取りはずします。（＊ウレタンパッドは洗濯できません。）

洗濯方法

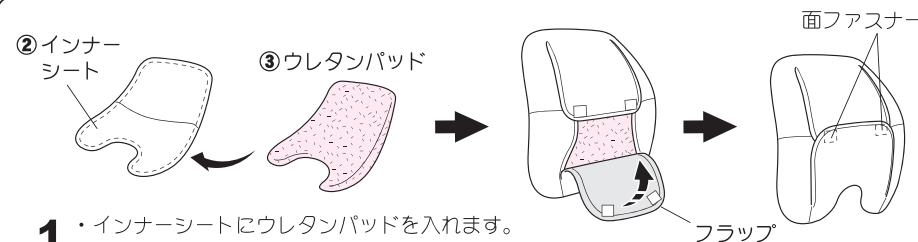
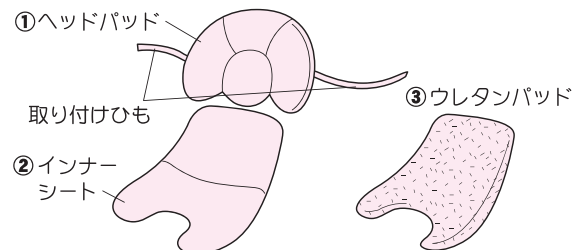
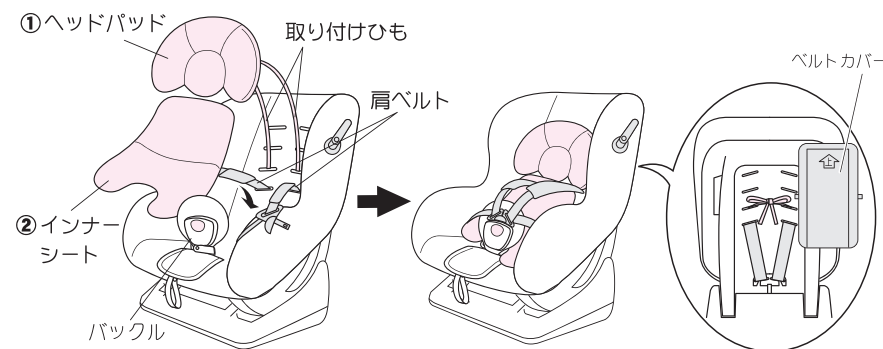
●インナーパッドは、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
●脱水はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。

⚠注意　塩素系漂白剤のご使用はおやめください。
⚠注意　アイロン掛けは、おやめください。

日常のお手入れ方法

●掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
●飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
●ガソリン・シンナーのご使用は、表面の生地や樹脂をいためますので、絶対におやめください。

インナーパッドの取り付け方

●①～③の部分を取り付けます。

1 ・インナーシートにウレタンパッドを入れます。
（＊後ろのフラップを面ファスナーで留めてください。）

2 ・本体バックル・肩ベルトを開いて、インナーシートを置きます。
・次にヘッドパッドの取り付けひもを肩ベルト通し穴のすきまに通して結び付けます。
（＊ヘッドパッドは、お子さまの頭の位置に合う高さでご使用ください。）
・ベルトカバーをはめてください。

●インナーパッドが、本体にしっかり納まっていること。
●ヘッドパッドがお子さまの頭の位置に合っていること。
●取り付けひもが本体後ろでしっかり結ばれていること。
●ベルトカバーを確実に取り付けていること。

肩ベルトの高さ調節 幼児用

体重 10kg～18kg以下

お子さまの成長に合わせて肩ベルトの位置を調節します。

⚠警告 肩ベルトの位置はお子さまの体格に合わせて、かならず調節してください。万一のとき、チャイルドシートが十分効果を発揮しないおそれがあります。

⚠警告 かならず幼児専用肩パッドを使用してください。万一のとき肩ベルトが本来の機能をはたさず生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

乳児用取り付けから幼児用取り付けへきりかえる際には、肩パッドをかならず幼児専用肩パッドに付けかえてください。

幼児専用肩パッドの交換方法

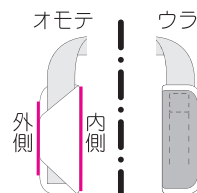
1 本体背面のベルトカバーをはずし肩ベルトハンガーから肩ベルトをはずします。（本書P１３参照）

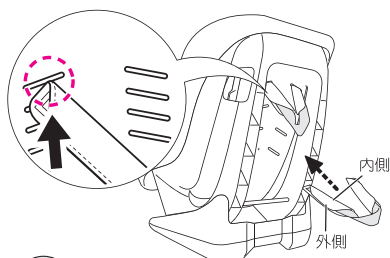
2 肩ベルトを肩ベルト通し穴から引き抜き、乳児専用肩パッドをはずします。

3 本体背面側から幼児専用肩パッドを通します。（詳しくは本書P３１調節２・３参照）

●肩パッドは内側､外側があります。
●肩パッドは布面がオモテ､ゴム面がウラになります。

オモテ　ウラ　外側　内側

調節

1
- 本体背面のベルトカバーをはずし、肩ベルトハンガーから肩ベルトをはずします。(本書P13 参照)
- 肩パッドから肩ベルトを抜き取り、肩パッドを肩ベルト通し穴から抜き取ります。

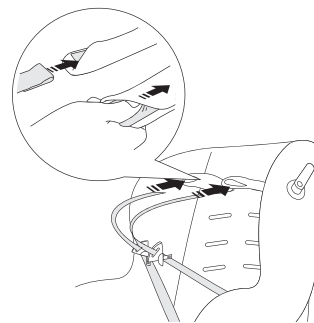
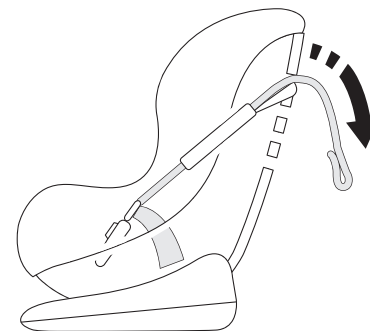
2
- お子さまを座らせ､肩の高さに最も近い肩ベルト通し穴へ本体背面側から幼児専用肩パッドを通します。（下図参照）

幼児使用の場合

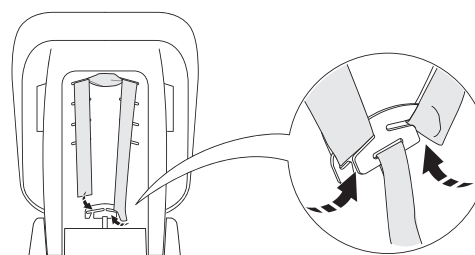
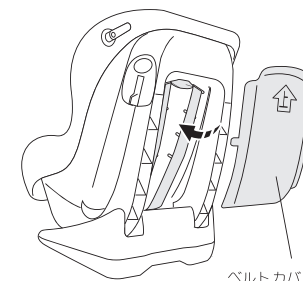
肩と同じ高さか､やや高めの肩ベルト通し穴を選んでください。

アドバイス 上図のように､赤丸でかこまれた角の部分から入れるようにするとスムーズに通すことができます。

⚠警告 ゴム面がかならずお子さまに接するように、付けてください。

⚠注意 かならず肩パッドを左右同じ高さのベルト通し穴に通してください。

3

肩ベルトを肩パッドに通します。

肩パッドを通したチャイルドシートの肩ベルトをそのまま背中の肩ベルト通し穴（肩パッドを通した穴であること）に通してください。

アドバイス 肩ベルトは親指でゆっくり送りこむようにすると、スムーズに通すことができます。

肩ベルトを肩ベルトハンガーに接続し、本体背面にベルトカバーを取り付けます。

⚠注意 肩ベルトおよび、アジャストベルトは、ねじれないように肩ベルトハンガーに取り付けてください。

⚠警告 お子さまの着座のたび、かならずアジャストベルトを引き（P12お子さまの座らせ方参照）お子さまを拘束してください。万一のとき肩ベルトが本来の機能をはたさず生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠警告 ベルトカバーはかならず取り付けてご使用ください。万一のとき肩ベルトが本来の機能をはたさず生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

●肩パッドが幼児専用肩パッドであること。
●幼児専用肩パッドのゴム面が、お子さまに接していること。
●幼児専用肩パッドの内側・外側が正しい位置になるようにつけられていること。
●ベルトカバーを確実に取り付けていること。
●肩パッドは最も引き出した状態であること。

完了図